

1 概要

目的：①地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況に関する情報交換を実施することにより、地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。
②東京都自立支援協議会として、地域自立支援協議会の活動状況を把握する。

日時：令和2年9月28日（月曜日）13時30分から16時まで

場所：東京都社会福祉保健医療研修センター
（9教室に分かれて実施）

対象者：地域自立支援協議会委員・事務局関係者、区市町村職員
東京都自立支援協議会委員・事務局関係者

周知方法：各区市町村の地域自立支援協議会会長、主管課長宛てに通知を发出
各区市町村の地域自立支援協議会主管課へメール及び電話連絡

参加者数：93名

- ・区市町村参加者 62名（12区12市）
- ・東京都自立支援協議会委員 14名
- ・都事務局関係者 17名

この他に、障害を有する方の支援者が8名参加

2 プログラム

テーマ 当事者が「語る」ことを「聴く」には？
～当事者の声を聴き、具体的な取組を持ち帰ろう～

ミニシンポジウム（事前撮影した動画を視聴）

今年度のテーマ選定理由

話題提供

<シンポジスト>

- 東京都自立支援協議会副会長 曾田 夏記 氏
（特定非営利活動法人自立生活センターSTEPえどがわ）
（特定非営利活動法人DPI日本会議特別常任委員）

- 特定非営利活動法人ピープルファースト東久留米代表 小田島 栄一 氏

- 東京都自立支援協議会会長 岩本 操 氏
（武蔵野大学人間科学部人間科学科教授）

グループ討議

他地域の自立支援協議会関係者で意見交換（11グループ）

- ・「当事者の語りを聴く」という点において、自分の区市町村における自立支援協議会の課題、工夫していること
- ・今日の交流会を踏まえ、自分の区市町村に持ち帰ってやってみたいこと

※各グループでワークシートに意見等をまとめ、交流会終了後に参加区市へ情報提供